

麻しん(はしか)・風しんを 予防しましょう!!

2008年4月1日から5年間の期限付きで、麻しん(はしか)・風しんの定期予防接種の対象者が、従来の第1期・第2期に加え、第3期(中学1年生相当世代)・第4期(高校3年生相当世代)において新たに実施されることになりました。

定期予防接種ですので、県内定期予防接種相互乗り入れ事業にて受けることができます。

ただし、麻しん(はしか)・風しん共に罹ったことがある方、麻しん(はしか)・風しんの予防接種を2回受けている方は除きます。

麻しん(はしか)・風しんは、人から人へ感染しやすく、時には死に至る重大な疾患です。あなたと、あなたの周りにいる人を守るために必ず予防接種を受けましょう。

予防接種の詳細については、お住まいの市町村の**予防接種担当課**または**千葉県疾病対策課 (TEL 043-223-2691)**へお問合せください。

生から緊急性ありと紹介された人」「症状増悪時に来院を指示されている患者さん」以外の方は、診療時間内に来院していただきたいと思います。私だけは別で、すぐ診て欲しいでは困るのです。

夜間の過重労働に加え、患者さんからのクレームも医療スタッフの大きなストレスになっています。理不

尽なものは一握りですが、「患者さん中心の医療」をはき違え、何でも言つたほうが勝ちだという風潮がみてとれます。医療は完全なものではなく、どんなに機械化を進めてデータを管理しても、人と人とのつながり、お互いの信用がなければ成り立ちません。

最新のWHOの報告によれば、日本の医療システム

は世界1位（米国15位）ですが、GDPに占める医療費比率は8%でOECD各国の22位で先進国の中では最低レベルです。人口あたりの医師数もOECDの27位とかなり低いレベルです。お金をかけないで良質の医療を提供するシステムとして世界で高く評価されていますが、もう現場は限界です。医療制度も直すべき点は多々ありますが、国はその本質の議論を避け、収支あわせのための場当たり的制度いじりに終始しています。まず、医療費削減ありきでは、救急医療を充実させ保たせるることはできません。

自分達が安心して住める、医療制度の整った地域の発展のために、一人ひとりが医療を育てるという意識を持ち、時には医療者と団結して行政にも働きかけをお願いしたいと思います。

(千葉市立青葉病院診療局長)
寺野 隆 医師

「かかりつけ医」は、 身近なナビゲーター。

幅広い医療知識と適切な医療ネットワークで頼りになります。

自己判断より、すぐ相談

「かかりつけ医」は、病気の時だけでなく、予防や健康管理について適切なアドバイスをしてくれる、身近な診療所の開業医です。多くの専門医療のネットワークを持ち、必要に応じて適切な専門医を紹介するなど、治療の道しるべをつけてくれるナビゲーターとして頼りになる存在です。

「かかりつけ医」を
持ちましょう。



社団法人 千葉県医師会

「かかりつけ医」は、開業医になる前は大学病院や公立病院などで長い勤務経験を積んでいますので、病気の診断や治療については大病院の医師に劣ることはありません。高度な医療や特殊な検査が必要な場合は、大病院と連携を図っていますので専門医に紹介状を書いてくれます。いざという時、「かかりつけ医」はあなたの味方です。